

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立松山東高等学校

学校番号 (20)

評 価 実 施 日	令和6年2月1日(木)		
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	近藤 高俊	学校評議員	
	二宮 雄三	学校評議員	
	井門 照雄	学校評議員	
	井手 一隆	学校評議員	
	井上 敏憲	学校評議員	
	林 尚文	元PTA会長	
	宇津見亮子	八雲保育園	
	山内 仁	松山市立道後中学校	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業外学習時間について、3年生の学習時間が昨年度より減少していることが気になる。 ・ 家庭学習にも集中して取り組んでいる様子に感心する。 ・ East CLIL の国語の取組では、生徒が英語で発表し、質疑応答も英語で行うとともに笑いもあり、主体的に学んでいる様子がうかがえた。今後も継続してほしい。 <p>2 進路指導・生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担任による個人面談の目標値は高いのではないか。達成は困難なように思える。 ・ 出席状況を目標値とするのは今後見直しが必要ではないか。正当な理由による欠席かどうかという視点で捉えることも必要であると思う。 <p>3 学校経営全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東高独自の「松山東高グローバル事業」は、毎年新しい取組をされていると感じる。今後も継続して取り組んでほしい。 ・ 進学校としての実績とともに、部活動も熱心に取り組んでおりすばらしいことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生は、運動会以降に学習時間が増加する傾向がある。今年度はその傾向が強くみられた。多くの生徒が個別指導を積極的に受けるなど、学習時間の確保はされている。1学期から集中して学習に取り組む環境づくりをしていきたい。 ・ East CLIL は本校を特徴付ける取組の一つであり、今後も継続していきたい。 ・ 面談や声掛けは、短時間であっても重要であるとの考えから、目標値は高めに設定している。3年生も進路実現に向けて随時面談を行っている。面談や声掛けの意識付けの意味でも高い目標を掲げ取り組んでいきたい。 ・ コロナ禍において、体調が悪い場合は無理をせず休むよう指導してきた。基本的な生活習慣を身に付けるという観点から対応していきたい。 ・ P T A や同窓会にも協力を得ながら、引き続き、地域に貢献できるグローバルリーダーとしての資質・能力を備えた人材育成に取り組んでいきたい。 ・ 三立(学問・部活動・学校行事)を理解し、全てに全力で取り組む生徒を育成していきたい。